

発行：
広島県環境県民局
県民活動課
(交通安全対策室)

2022年
広島県交通安全
年間スローガン

「ゆるさない
ハンドル・スマホ
の二刀流」

自転車安全利用五則

① 自転車は、車道が原則、歩道は例外

次の場合は歩道を通行することができます。

- 歩道に「自転車歩道通行可」の標識があるとき
- 13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者や身体の不自由な人が自転車を運転しているとき
- 道路工事や連続した駐車車両などのために車道の左側部分を通行することが困難な場合や、著しく自動車などの交通量が多く、かつ車道の幅が狭いなどのために追い越しをしようとする自動車などの接触事故の危険がある場合など、自転車の通行の安全を確保するためやむを得ないと認められるとき



自転車歩道通行可

② 車道は左側を通行

- 道路(車道)の中央から左の部分を通行しましょう。
- 自転車道がある場合は、工事などの場合を除き、自転車道を通行しましょう。

③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

自転車は、歩道の中央から車道寄りの部分を徐行しましょう。歩行者の通行を妨げるときは、一時停止しましょう。

④ 安全ルールを守る

飲酒運転・2人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

⑤ 子どもはヘルメットを着用

保護者の方は、13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。



「自転車安全利用街頭キャンペーン」を実施しました!

広島県では、新学期が始まり、自転車に乗り始める小学生、自転車通学を始める中・高校生等により、自転車の交通事故が増加傾向にある5月を「自転車マナーアップ強化月間」としています。

今年は『自転車もルールを守るドライバー』をスローガンに「自転車安全利用街頭キャンペーン」を開催し、広島市南区内の高校生を中心に、来店者(自転車・歩行者)へ自転車安全利用啓発グッズ(チラシ・反射材)を配布し、自転車の安全利用を呼び掛けました。

日時:令和4年5月10日(火)午後4時から約1時間

場所:ゆめタウン広島(広島市南区)

参加者:広島県、広島県警察本部、広島南警察署、広島県交通安全協会、広島市南区内の3高校(約20人)

当日参加していただいた
自転車マナーアップ推進校
・県立広島工業高校
・広島大学附属高校
・広島市立広島工業高校

■ 自転車マナーアップ推進校から「自転車安全利用継続宣言」がありました!

- 1 車道では左側、歩道では車道寄りを走行し、歩行者優先を徹底します。
- 2 二人乗り、横並び、傘差し運転はしません。
- 3 スマートフォンを見ながら、イヤホンを付けながらの運転はしません。
- 4 夜間は、ライトを点灯します。
- 5 交差点では信号を守り、一時停止をして安全を確認します。

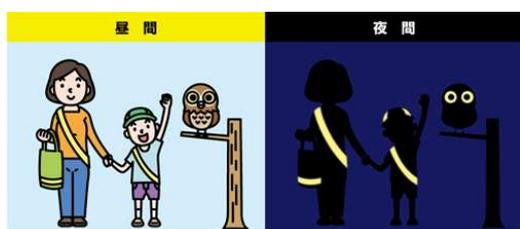
広島県夏の交通安全運動

◆実施期間

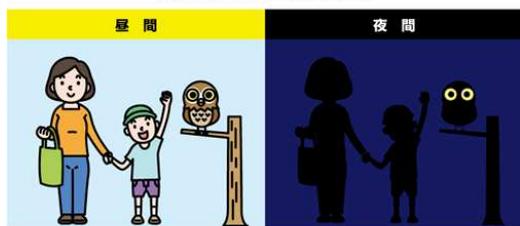
令和4年7月11日～20日

◆運動の重点

- ① 歩行者の安全な通行の確保
 - ・横断歩道は歩行者優先です。
 - ・車両を運転するときは、早めにライトを点灯し、上向きライト（ハイビーム）を活用して交通事故を防ぎましょう。
 - ② 高齢運転者の交通事故防止
 - ・高齢者の方が亡くなる交通事故が多発しています。
 - ・安全運転サポート車（サポカーS）を検討しましょう。
 - ③ 飲酒運転等の根絶
 - ・飲酒運転を絶対にしないさせないようにしましょう。
 - ④ 自転車の安全利用の推進
 - ・自転車安全利用五則を守りましょう。
- ◆広島県夏の交通安全運動開始式
- ・令和4年7月11日 午後2時半から 県庁正面駐車場で実施します。
 - ・主催者あいさつの後、交通安全自動車がパトロールに出動します。



反射材用品等を着用した場合



反射材用品等を着用しない場合



広島県 広島県警察 公益財団法人広島県交通安全協会・広島県交通安全活動推進センター

夏場の過労運転の防止について！

過労運転による交通事故は、夏場に増加する傾向があります。

夏は、気温や湿度の上昇により、睡眠不足などで疲労が蓄積され、注意力や集中力、判断力が低下しやすくなります。

次の「疲労のサイン」が出たら無理をせず早めに休憩などをとりましょう。

疲労のサイン

- あくびの回数が増える。
- 瞬きの回数が増える。
- まぶたがピクピクする。
- 目がショボショボする。
- 肩が凝ったり、足や腰が重くなる。
- 頭が重くなったり、痛くなったりする。

安全運転のポイント

- ★ ゆとりある運転計画を立てること。
- ★ 体調がすぐれないときは、運転を控えること。
- ★ 暑さが、注意力や判断力を低下させることを自覚すること。
- ★ 疲れをためないように、十分な睡眠をとること。
- ★ こまめな休憩をとること。
- ★ 熱中症予防のため、こまめに水分補給をすること。

